

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

1 学校づくりの骨子

大阪府の人材育成の重点化を踏まえた「東大阪・八尾地域を中心とした地元産業のものづくり人材の育成」を推進するため、地元を主体とした企業、更には広域な企業組合等との連携を強化し、ものづくり人財の孵卵器たる学校づくりを行う。

2 生徒の育成方針

「人づくり・ものづくり・夢づくり」のスローガンのもと、ものづくりの要諦である5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）＋2A（挨拶、安全）の徹底を礎として、基礎学力、基本技能を高め、知・徳・体（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を調和よく育むとともに、校外の技術者&本校教員による綿密な指導等による現場で役立つスキル（技能・技術）を身に付けたものづくりスペシャリスト、および環境変化に打ち勝つ生き抜く力を身につけた競争力を有する現場のリーダーとなり得る人財を育成する。

2 中期的目標

1 中核教育活動施策目標（A）

(1) 主体的・対話的で深い学びの推進

生徒自ら問いかけ、相手の話を聴き、考えをまとめて課題解決を図り、達成感・成長感を得られる授業への進化を促進する。工業高校時代から実習等で行ってきたこのスタイルを他の授業にも適用・拡大を図る。なお、平成27年度学校経営推進費事業による教室・会議室へのプロジェクター等ファシリティの更なる活用により推進する。

※学校教育自己診断「布施工科は自分の能力を高めてくれると思う」「布施工科高校の授業で学んだことは卒業後の仕事に役に立つと思う」の生徒肯定回答：80%（H28：66%，78%）

※授業アンケートの1回目と2回目の「改善率」に着目する。（5%Up以上）

(2) 基礎学力向上への取組み強化

全学年で実施している基礎学力調査の分析結果に基づき、基礎学力向上のための指導体制を構築するとともに、一定水準に達していない生徒に対する補習を実施する。

(3) 公開授業・校内研修の拡充

保護者及び教員を対象とした公開授業期間を年2回設定するとともに、授業力向上のための研究協議・校内研修を実施する。

(4) 生徒指導 規範意識の育成強化

5S＋2Aの次なるステージとして、模範レベルの挨拶の全校展開を推進する。また、生活習慣の基本たる自己管理を重視し、遅刻指導を生活指導部＋学年団を主体として全校で取り組む。さらに服装基準の精緻化と指導の標準化を推進し、TPOをわきまえたモラルの高い社会人への育成を図る。

※遅刻者数 年間1,000名未満を堅持する。（遅刻者数：H27 779名、H28 443名）

(5) 人権・インクルーシブ教育の推進

平成28年度施行の障がい理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、インクルーシブ教育の推進体制を構築し教職員への啓発、知識／情報共有、サポートシステムづくりを推進する。また「常態からの差異の検知」に力点を置いた予防的措置の取り組みをさらに進めるとともに、外部機関との連携強化を促進する。さらに、すべての授業がユニバーサル・デザインを反映したものとなるよう改善を図る。

(6) 中退率減少のための取組み強化

学校生活に距離をおいてしまった生徒が学習に取り組む意欲を復活させるよう、また学校における居場所を見だし自己肯定感を高められるよう、クラス担任、副担任（1学年）、学年係、学年主任、中退防止コーディネーター、支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー等が連携し、課題の早期発見と家庭との連携を深め、中退率の減少を図る。

※中退率4.0%未満を目標とする。（中退率：H27 4.47%、H28 3.46%）

2 拡張教育活動施策目標（B）

(1) 生徒会活動の推進

生徒会執行部が中心となった活動の活性化を図り、体育祭や文化祭など生徒全員が一致団結して企画～運営が自律的な活動となるよう指導・サポートを進める。

(2) 部活動・同好会活動の推進

部活動、同好会の加入率を向上させ、生徒の自主性と個性を伸ばし切磋琢磨する機会を通じて心身の鍛錬をはかるとともに、人間関係の大切さを知り社会人へのステップアップとする。また高い技術の向上を図りながら、ものづくりへの興味・関心を高めさせ、難易度の高い資格・検定へのチャレンジに繋げる。（H27 42.6%、H28 48.5%）

※部活動・同好会活動加入率を3年後には50%を上回ることを目標とする。

(3) 交通安全教育の推進

約9割の生徒が自転車通学である現状を踏まえて、地元警察署の協力のもと引き続き交通安全教育を推進し、重大自転車事故ゼロをめざす。また、万一事故が生じた際に必要となる補償に鑑み、自転車保険への加入を強く推奨する。

3 アウトプット対象施策目標（C）

(1) キャリア教育の拡充

企業の絶大なるご協力のもと、就職希望者全員（原則）がインターンシップへ参加し、職業意識を高め自身のキャリアについて深く学ぶ。（1単位認定）。

（インターンシップ参加率：H27 95.6%、H28 98.2%…カバープログラム参加を含む）

企業経営者・幹部による講演会や就業体験など、企業や就業について学ぶ学校設定科目「企業研究」を全系の選択科目で設定する。

※インターンシップ参加率 実質100%を堅持する。

(2) 就職希望者への進路指導の拡充

進路において就職を希望する生徒はおよそ8割であるが、まずはチャレンジ意欲を尊重しながら就職一次合格率において概ね80%をめざすと共に、就職内定率100%を堅持する。

（就職一次合格率：H27 80.1%、H28 84.8%）（就職内定率：H27 100%、H28 100%）

※就職率 100%を堅持する。

(3) 進学希望者への進路指導の拡充

数学、物理、英語の単位数が普通科に比べて少ないため、進学希望者に対して進路指導部及び担任団が中心となった補習をさらに強化する。特に、工科校長枠推薦の対象となる大学への学校推薦については、外部実力判定試験を受験するとともに、校内の特別補習の参加を必須とすることで自らの学力レベルを把握し大学での勉学に困らない学力を身に付けていく意欲を喚起する。またオープンキャンパスへの参加を促し進学への意識醸成を図る（大学進学者：H27 10名、H28 8名）

(4) 資格取得・検定合格の指導強化

生徒自らのスキル向上の証とも言える資格取得の拡大を図る取り組みを引き続き強化する。（資格取得数H27 977名、H28 812名）

特に、配管技能検定取得者数の工業高校日本一、および技能五輪全国大会「配管」競技への連続出場をめざす。（H27 2級7名・3級33名、H28 2級3名・3級25名）

また、平成29年度学校経営推進費プロジェクトにより、部活動・同好会活動に参加していない生徒が放課後に資格・検定の取得・合格に勤しみ、学校生活を中心に組み立てた日常生活が生徒の自己実現につながるよう全校体制で取り組む。

(5) 地元企業等との外部連携強化

工科高校重点化の取組みとして、ものづくり企業が集積している東大阪・八尾地域を中心に一層の企業連携を図り、また広域な企業（組合）から本校に来ていただく出前授業やキャリア教育・職業教育の充実を図る。

(6) 卒業後の進路調査と対策強化

卒業3年後の離職率を把握し、その結果を踏まえてキャリア教育・職業教育にフィードバックし、1年次より早期に外部機関と連携してキャリア教育を積極的に行い、離職率の低下を図る。なお、卒業後すぐに就職した企業に3年以上勤務の後退職して間をおかず同業他社へ転職しているケースはキャリアプランに沿ったものとして肯定的にとらえる。

4 インプット対象施策目標（D）

(1) 中学校訪問・塾訪問等の拡大

入試制度の後期一本化に伴う影響に対し、中学校や塾の訪問・中学教員の見学会等を通して工科高校の魅力と本校の特徴を理解してもらい、本校を受験する中学生の増加を図る。

※入試倍率を1.0倍以上とする。（入試倍率：平成28年度入試0.78倍、平成29年度入試1.05倍）

(2) 中学校への出前授業等の拡大

ものづくり教育や本校の利点を知ってもらうため、中学校への出前授業や保護者説明会等への参加を積極的に推進する。（参加件数：H27 26件）更に中長期的な視点で小学校への出前授業を行い、ポテンシャルの拡大を図る。

(3) 学校説明会、オープンスクール拡大

オープンスクール、本校開催学校説明会・見学会の拡充を図る（7月～2月に中学校事情にあわせた戦略的拡大を図る）

5 広報・渉外活動施策目標（E）

(1) 情報提供の拡充

報道機関等に対してタイムリーかつ効果的な情報が提供できるように、緊急時も含めた校内での情報共有化と体制づくりを行う。（報道提供：H27 17件、H28 25件）

なお、ブランディング施策を推進し、工業・工科高校のイメージアップを図る。

(2) 学校ウェブサイトの拡充

中学生、保護者、府民、企業等本校に関係する全ての方々に必要かつ有用な情報提供を強化する。なお鮮度がよく生き生きとした教育活動の状況を積極的に発信する。

6 リスクマネジメント施策目標（F）

(1) 安全で安心な学びの場づくりの推進

生徒の安全・安心が脅かされる状況を把握し、相談にのり、緊急度・重要度に応じて外部機関との連携により、生命・心身の健康を守る取組みを推進する。

学校保健委員会と職員安全衛生委員会を充実させ、保護者や学校三師とともに「安心・安全な学校づくり」を推進する。

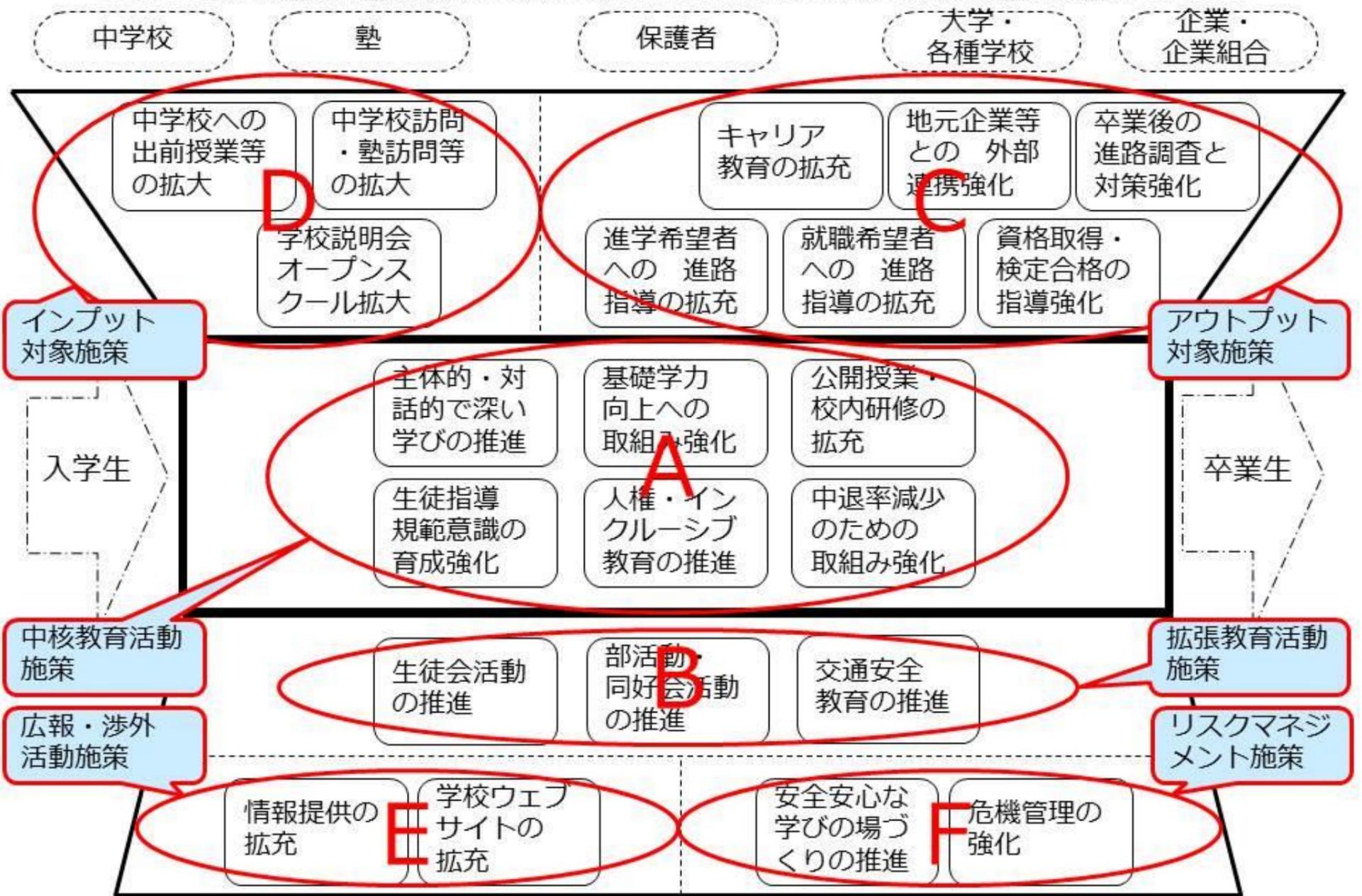
(2) 危機管理の強化

多重の安全管理、緊急対応等を踏まえた危機管理の徹底を図る。

大規模震災を想定した対応を図る。

平成29年度 学校経営計画 (Overview)

地域



【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成XX年XX月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 中核教育活動施策目標(A)	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの推進</p> <p>(2) 基礎学力向上への取組み強化</p> <p>(3) 公開授業・校内研修の拡充</p> <p>(4) 生徒指導の徹底</p> <p>(5) 人権・インクルーシブ教育の推進</p> <p>(6) 中退率減少のための取組み強化</p>	<p>(1) 工業高校時代から培われてきた実習、課題研究等のスタイルにおける「生徒自ら問いかけ、相手の話を聴き考えを纏めて課題解決を図り、達成感・成長感を得られる」というプロセスをそれぞれの授業に適用する方法を研究・検討し試行～実施する。</p> <p>生徒の様子を細かくモニターし、タイムリーにフィードバックをかけるファシリテーションスキルの開発を図る。</p> <p>さらに、生徒の評価方法について研究・検討を進める。</p> <p>また工業高校卒業生に求められる学力・人間力について、企業の協力を得てヒアリング・調査～分析～定義化に着手する。</p> <p>(2) 全学年に導入した基礎学力調査によって、基礎学力の年度別変化と経年変化を把握・分析し、生徒の実態に合った学力向上のための指導を行う。</p> <p>1年生で義務教育段階の「学び直し」を行う。数学の小テストを各HRで定期的実施し、一定水準に達していない生徒に対しては、全教員が分担して放課後に補習を行う。</p> <p>2年生では就職筆記試験対策として朝学習を行う。</p> <p>(3) 教員、保護者、更に中学生を対象とした公開授業期間を年2回実施し、アンケートを行う。授業アンケートを踏まえて授業力、指導力向上のための校内職員研修を実施する。</p> <p>(4) 立派な社会人をイメージし、時間厳守、頭髪や服装を整えるなど規範意識の高揚を図ると共に、「朝のおはよう隊」を初めレベルアップした挨拶の全校展開を図る。</p> <p>特に時間厳守＝社会的信用と昇華させる意識啓発を継続強化する。</p> <p>更に5S＋2Aにおける清掃に注力した指導を行う。</p> <p>これらを推進すべく生活指導部と担任団の連携を強化する。</p> <p>(5) 昨年度施行の障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、人権教育、教育相談、担当首席の専門チームを中核とし、全校体制でインクルーシブ教育を推進する。</p> <p>教員間での連携を密にし、いじめに対する迅速な対応を徹底すると共に予防に力点を置く。</p> <p>学校いじめ防止基本方針、いじめ対応マニュアルを参考に、支援を必要とする生徒に対しては、保護者、外部関連機関との連携を推進するとともに、校内での支援体制を図る。</p> <p>サイバー空間（インターネットのSNS等）内でのコミュニケーション問題からいじめに至るリスクについて生徒に繰り返し指導すると共に、相談～対応プロセスを確立する。</p> <p>(6) 合格発表後、新1年担任団と運営委員会メンバーで合格者の全中学校を訪問する。</p> <p>課題を抱える生徒については、必要に応じて出身中学校との情報交換を行う。</p> <p>ガイダンス教科である「キャリア設計」の授業で就職を見据えた適正な系選択ができるようサポートする。</p> <p>担任・学年主任・中退防止コーディネーターの連携のもと、中途退学に至らないための指導を更に充実する。</p>	<p>(1) 学校教育自己診断アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「布施工科は自分の能力を高めてくれると思う」「布施工科高校の授業で学んだことは卒業後の仕事に役に立つと思う」の生徒肯定回答:80% (H28:66%, 78%) ・「授業は良くわかる」「先生は教え方に様々な工夫をしている」の生徒肯定回答:60% (H28:53%, 57%) <p>(2) 基礎学力調査の全学年実施 (H28:全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生対象の「学び直し」補習年間20時間の実施 (H28:実施) ・就職等筆記試験対策(早朝 7:30) 学習の年間3セット、計30回の実施 <p>(3) 公開授業期間の1学期、2学期各1回の実施 (H28:1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上研修の年6回の実施 (H28:6回) ・職員研修の実施 (H28:6回) <p>(4) 遅刻者数1000未満堅持 (H28:443名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断アンケート 「本校の生活指導は厳しい」 「本校の生活指導は納得できる」 生徒肯定回答:70% (H28:71%, 57%) ・外部(来校者)からの評価 「布施工科の生徒は挨拶が良い」 「校内の掃除が行き届いている」 (10件/年間) <p>(5) 悩み困っている生徒への相談～サポート及び全校生徒に対し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクール・カウンセラーによるカウンセリング:前年比50%増 ・ケアが必要な生徒に対する、支援実施 ・生徒対象人権研修:年2回実施 ・人権重視姿勢の校内浸透 ・教職員対象人権研修:2回以上 <p>(6) 合格者全員の中学校訪問 (H28:67校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退率:5% (H28:3.46%) 	

2 拡張教育活動実施目標 (B)	<p>(1) 生徒会活動の推進 (2) 部活動・同好会活動の推進 (3) 交通安全教育の推進</p>	<p>(1) 生徒会執行部が中心となった体育祭、文化祭、ボランティア活動等自立的な企画～実行を進める。また、学校説明会を生徒が主体的に行い本校の良さをアピールする。 (2) 部活動顧問、生徒会他が布施工科 Web サイトのブログにて部活動、教育活動等の生き生きとした情報を積極発信する。さらに、出前授業、学校説明会等で積極的に部活動のPRを行う。生徒会・1年担任団・部活動顧問が中心となり、クラブ別オリエンテーションとクラブトライアルウィークを行い、部活動への参加を積極的に進めるとともに、部活動加入率を向上させ、活性化を図る。 (3) 生活指導部イニシアティブにより全教職員が地元警察との連携も含め、生徒の自転車通学に関する安全教育を推進する。</p>	<p>(1) 生徒会のイニシアティブによる体育祭、文化祭等の企画運営 (H28:文化祭における初の体育館使用で盛況。ペットボトルキャップ回収→ポリオワクチン寄贈。熊本震災募金) ・学校説明会への参画回数5回以上 (2) 部活動加入率 50% (H28:48.5%) (3) 交通安全教育講習会の実施 ・地元警察による講習2回 ・終業式等での啓発指導6回 ・授業内での啓発指導 (H28:講習会2回、啓発指導6回、1年生「保健」授業での啓発指導4時間) ・教員による登下校指導 50日/年 (H28:15日)</p>	
3 アウトプット対象施策目標 (C)	<p>(1) キャリア教育の拡充 (2) 就職希望者への進路指導の拡充 (3) 進学希望者への進路指導の拡充 (4) 資格取得・検定合格の指導強化 (5) 地元企業等との外部連携強化 (6) 卒業後の進路調査と対策強化</p>	<p>(1) 就職希望者原則「インターンシップ」への参加。校内体制の確立と生徒の職業観・勤労観の育成を図る。 (2) 進路指導部と3年担任団の連携を密にし、就職希望者に対する指導や就職試験等の徹底を図り、就職一次合格を概ね80%をめざし、就職内定率100%を堅持する。 (3) 年度当初に進路指導部と担任団が中心となり、進学希望者の補習体制を確立して指導を行う。なお、工業系大学の推薦者は、外部模試と工科高校合同講習会等への参加を原則とする。 (4) 首席・系長を中心とした資格取得の取り組みを推進し、取得拡大を図る。 ・配管技能検定2級・3級の取得者数については工業高校日本一をめざす。 ・技能五輪全国大会「配管」競技については今年度も出場をめざす。 ・上位資格・検定へのチャレンジを促進する。 ・Qualification Acquisition Team (資格取得推進チーム) により全校体制で取り組む。 (5) 企業見学・インターンシップ・学校設定科目「企業研究」等において、地元企業や経済団体と連携し、求人の拡大を図る。 PTAフィールドワークを実施し、保護者にも地元企業について理解を深める機会を設け、家庭と学校の両方で生徒のキャリア設計をサポートする。 (6) 進路指導部が中心となり、全教員により企業訪問や開拓進路調査として、就職者は離職調査、進学者は卒業後3年目まで対象とした状況調査を実施する。その結果をもとに対策を図る。</p>	<p>(1) インターンシップ参加率:前年並み (H28:98.2%) (2) 就職一次合格率:80% (H28:84.8%) ・最終就職内定率:100% (H28:100%) (3) 補習体制の確立と報告の徹底 (H28:実施) (4) 資格取得数の1割増 (H28:812名) ・配管技能検定2級・3級の取得者数:前年並 (H28:2級3名・3級25名合格) ・技能五輪全国大会「配管」競技への出場 (H28:1名) ・ジュニアマイスター取得者:10名以上 ・学校教育自己診断「布施工科高校は自分の能力を高めてくれると思う」肯定率:70%+ (5) 連携した企業・団体の件数:前年並 (H28:100+) ・PTAものづくりフィールドワークへの参加保護者数前年比1割増 (H28:見学先企業数6社、参加保護者14名) (6) 企業訪問や開拓件数:前年並み (H28:271社) ・3年後離職率:40%未満 (H28 全国工業高等学校長協会離職状況調査 46.3%)</p>	
4 インプット対象施策目標 (D)	<p>(1) 中学校訪問・塾訪問等の拡大 (2) 中学校への出前授業等の拡大 (3) 学校説明会、オープンスクール拡大</p>	<p>(1) 9,10月に全教員で東大阪市・八尾市を中心に地元の中学校を訪問し、情報交換を行い、中高連携を強化する。 地域の塾を訪問し、工科高校の魅力と本校の特徴を理解してもらう。 中学校の教員に工科高校の魅力を知ってもらうため、教員対象の見学会を実施する。 (2) 近隣の中学校に対して出前授業や学校説明会等を積極的に行う。また冬季休業時期にも実施 (3) 本校での学校説明会・見学会(オープンスクール)を充実し、中学生にもものづくり人財を育成している工科高校の魅力、及び正社員就職という進路について伝える。</p>	<p>(1) 中学校訪問の徹底:前年並み (H28:70校) ・塾訪問の堅持:前年並み (H28:30) ・中学校教員対象説明会教員対象1回、校長対象1回以上 (H28:各1回) (2) 出前授業及び訪問しての学校説明会数10%増 (H28:6回,18回) (3) 本校での学校説明会・実習体験見学会、部活動体験プログラム10回 (H28:7回)</p>	

5 広報・渉外活動施策目標(E)	(1) 情報提供の拡充 (2) 学校Webサイトの拡充	(1) 報道機関等への情報提供を迅速にできる様、広報・渉外に担当する首席をアサインすると共に、分掌での担当について明確化し進める。報道機関への情報提供を積極的に行う。ブランディングを推進し、生き生きとした生徒の授業・実習の様子を表現したポスターなどイメージアップ施策を積極的に行う。官・民他との連携により工業(工科)高等学校の魅力化の推進、さらには職業教育の重要性・キャリア発達について情報提供し、中長期的なものづくり人財の裾野拡大を図る。 (2) 学校Webサイトは、中学生、保護者、府民、企業等本校に関係する全ての方々に必要かつ有用な情報提供を強化する。またブログ化による極めて鮮度が高く生き生きとした教育活動の状況を積極的に発信する。また在校生保護者、中学生等の閲覧性を高めるためのスマートフォン対応を図る (3) 平成29年度学校経営推進費プロジェクトの成果発表を対外発信し、学校のBrand Value向上を図る。	(1) 体制強化(首席+分掌) ・報道提供20件(H28:25件) ・ポスター、パンフレット、リーフレット、説明プレゼンテーションスライドの刷新 ・業界誌等への投稿:3回以上 ・動画投稿サイトへの投稿 ・QRコード等でのプロモーション (2) 学校Webサイトの充実 ・Web Site更新80回(H28:50回) ・Blog更新150回(H28:158回) ・携帯メール配信システムによる学年・クラス通信を学校レベルへ拡充し、メール登録者数2倍 配信頻度2倍(H28に対し) (3) 年度末の対外広報 ・学校Web Site ・地域情報サイト ・動画投稿サイト	
6 リスクマネジメント施策目標(F)	(1) 安心安全な学校づくりの推進 (2) 危機管理の強化	(1) 学校保健委員会と職員安全衛生委員会を活用し、保護者や学校三師とともに「安心・安全な学校づくり」のための意見交換を行う。施設・設備の安全点検を全教職員で実施し、不備・破損箇所の改善や修理を速やかに行う。地震・火災の発生に備えての防災訓練を実施するとともに、学校の諸活動を通して防災教育を推進する。 (2) 安全第一のもと、外部からの意見も参考に、安全対策の見直しと改善を行う。危機対応マニュアルの見直しと徹底を行う 生徒居住地域のハザードマップの配布による、1日の三分の二の時間における緊急時避難の具体的な方法について意識啓発 大規模震災を想定した避難、救助、被災後対応およびBusiness Continuity Planを策定する。	(1) 学校保健委員会の実施回数:2回(H28:1回) ・職員安全衛生委員会の定例実施 ・安全点検の複数回実施:3回(H28:3回) ・防災訓練の実施:1回(H28:1回) (2) 外部からの意見聴取 ・危機対応マニュアルの指導徹底 ・校内研修1回以上 ・大規模震災対応マニュアル、BCPの作成と校内共有	